

大会役員

大会会長 栗岡 威
大会委員長 長島 泰治
大会役員 一般社団法人 東京都テニス協会 役員

運営委員

ディレクター 瀧口 伊和生
アシスタントディレクター 中村 吉人、綿貫 陽一
レフェリー 松田 久美子
アシスタントレフェリー 山口 京子
運営委員 ジュニア委員会委員、審判委員会委員

注意事項

1. 出席 プレーできる服装で集合時間までに大会本部に出席を届ける事。集合時刻を定刻 WO タイムとします。
2. 試合方法 出席を届けた選手の試合は、オーダーオブプレーによって試合をするコートが決まります。
コートと試合の順番が発表されたらコートの近くで試合をする準備をしてください。
前の試合終了後 15 分以内にコートに入らないと失格になります。
試合は1セットマッチ(6-6、7ポイントタイブレーク)で行います。
※天候等によって試合方法が変更になることがあります。
3. 使用球 6年生以下 YONEX TOUR PLATINUM
4年生以下 グリーンボール(マッスルパワーボール 40)
※1試合に2個使用します。
4. ウォームアップ 3分以内(会場の審判の指示に従ってください)
5. 審判 セルフジャッジ(ロービングアンパイアがつきます)
6. 天候 天候が悪く、試合があるかどうかわからない場合は、(一社)東京都テニス協会ホームページの「ジュニア大会緊急掲示板」を確認してください。 <https://www.tokyo-tennis.jp/>
7. 日程変更 次の試合がある人は、日程をレフェリーに必ず自分で確認すること。
8. 服装 テニスウェア(Tシャツで試合をすることは出来ません)
9. 電子機器の使用 試合中はいかなる電子機器も使用することができません。
スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められません。
10. 保護者・コーチの方々へ
試合中の選手にアドバイス、声をかけること、ポイントやゲームカウントを教えたりすることはルール違反となり選手本人がペナルティーを受ける場合もあります。又、自立心の成長を妨げることにもなります。相手選手のプレーを妨害するような応援も同様です。選手がルールを守り、気持ちよいマナーでプレーできるようご協力をお願いします。初めて試合に出場する小学生達が今後も楽しくテニスを覚えて行けるよう役員も含め関係者全員が努力していきたいと考えています。
11. 本大会は、JTAルールブック 2024 と関東ジュニアペナルティー(罰則)規程を採用いたします。
12. 本大会のシード選手選考は 2024 年 9 月 2 日修正発表の関東ランキングを資料として使用しました。



ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ

公益財団法人日本テニス協会



テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い

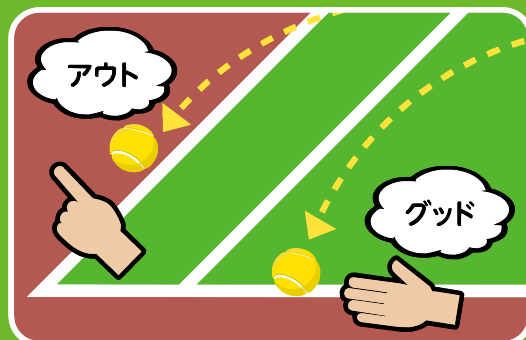


フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアが見つからない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。


そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアが見つからない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- 1 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- 2 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- 3 サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- 4 ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- 5 コートの外の人には、セルフジャッジへの口出しはしない！



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。